



10月2日 「日本で最も美しい村」連合

村づくり協力委員がビューティフルデーに清掃活動

村が加盟するNPO法人「日本で最も美しい村」連合の設立日(10月4日)に合わせ、村づくり協力委員会(吉沢強会長)が村内の主要地方道「昭和インター線」の歩道や車道で清掃活動を行いました。

同連合が「ビューティフルデー」と銘打った10月2日、委員10人と役場職員7人が参加した清掃活動で拾ったごみは、軽トラック2台分になりました。

吉沢会長は「景観の美しい昭和村を守るための清掃活動が、無事に行えてよかった。活動がもっと多くの人に広がっていけばうれしい」と話していました。



昭和インター線で行われた清掃活動



参加した村づくり協力委員の皆さん



清掃活動しながら昭和インター線を下る



連合のPRもしながら活動



10月11日 村内各小中学校 災害を想定し引き渡し訓練

村内の3つの小学校と昭和中学校で、災害を想定した「小中学校合同引き渡し訓練」が行われました。

小中学校4校が同時に行ったこの訓練は、震度5弱以上の地震が発生し、校舎が被害を受けたことを想定し、児童生徒を短時間でスムーズに保護者に引き渡すというもの。

今回初めての訓練となった昭和中学校でも、保護者に対し一斉に訓練メールを送信。保護者は学校裏門へ回り、体育館で生徒を迎えて速やかに帰宅しました。



スムーズに行われた「引き渡し訓練」



10月8日 第二保育園で交通安全教室 安全を確認して渡ろう

第二保育園で交通安全教室が開かれ、園児たちは交差点での正しい渡り方を確認しました。

園児たちは来園した昭和駐在所の小川正人所長の指導で、安全な道路の横断の仕方と、雨傘の安全な差し方やしまい方を学びました。

晴天に恵まれたこの日は、園児たちが実際に信号のある交差点に移動し道路の横断を体験。まずはしっかり止まって信号を確認し、右手を上げ左右を確認して道路を渡っていました。



信号を見て安全確認して渡ろう(第二保育園)



10月8日、15日 第一保育園・第二保育園

夜まで元気いっぱい「お楽しみ保育」



宝の入った紙袋を手にしたら逃げよう(第二保育園)



先生との時間は夜でも楽しい(第二保育園)



園庭で楽しむ(第一保育園)



みんなでレクリエーション(第一保育園)

第一保育園(15日)と第二保育園(8日)で、夜までの「お楽しみ保育」が行われました。もともと「お泊り保育」として両園で毎年行っていたこの行事。コロナ禍により宿泊が難しいことから、夜9時までの保育の中で園児たちが楽しめるよう工夫して行われました。

園児たちは、園庭でのレクリエーションや花火を楽しんだほか、暗い園舎を探検する恒例の「宝探し」にも参加。年長児たちが勇気を出して挑戦しました。この日は、保護者会本部役員の皆さんも出席し、園児たちの思い出づくりをサポートしました。



10月18日 子育て保育園「柿もぎ体験」 園児が藤正園で旬の柿味わう

永井の藤正園(藤井正雄さん)の柿園で、子育て保育園の年長児が「柿もぎ」を体験しました。

穏やかな陽気に恵まれたこの日の午後、園児たちは藤井さんの柿園に到着。思い思いに選び、先生たちにもいで皮をむいてもらった柿を口いっぱいほおばり「甘い」「おいしい」と味わっていました。

藤井さんが栽培する柿は、丸みを帯びた四角形で種がなく、歯ごたえがしっかりしていて甘いのが特長。「いっだんべ」の名で商標登録出願中とのことです。



藤井さんから柿の説明を聞く園児たち



10月15日 村内小学校低学年 「うんこ先生」から交通安全学んで

学習ドリルで人気のキャラクター「うんこ先生」を通じて、小学校低学年の子どもたちに交通安全を学んでもらおうと、「うんこ交通安全ドリル」の歩行者編と自転車編が、東小学校、南小学校、大河原小学校の1、2年生に配布されました。

ドリルは、道の駅「あぐりーむ昭和」で導入しているレンタサイクルがブリヂストンサイクル株式会社製であることから、同社スポーツ車戦略部を通じ一般財団法人トヨタ・モビリティ基金が村に寄贈しました。



基本的な交通ルールをクイズ形式でわかりやすく解説



10月31日 第49回衆議院議員総選挙・第25回最高裁判所裁判官国民審査 即日開票、村内投票率は62.75%

10月14日の衆議院解散に伴う、第49回衆議院議員総選挙が、村内8カ所の投票所で行われ即日開票されました。選挙は、小選挙区選挙(群馬1区)と比例代表選挙(北関東ブロック)で、投票は午前7時から、開票は午後8時から役場会議室で行われました。

開票の結果、小選挙区での投票率は62.75%で、平成29年10月に行われた同選挙の投票率を0.13%下回りました。

また同日、第25回最高裁判所裁判官国民審査もあわせて行われました。



役場会議室で行われた開票作業

◆村内投票結果(小選挙区)

候補者名	党派	得票数
中曽根 やすたか	自由民主党	2,485
斉藤 あつこ	無所属	288
宮崎 タケシ	日本維新の会	461
たなはし せつ子	日本共産党	246

◆当日有権者数

性別	人数
男	2,826人
女	2,860人
計	5,686人

◆投票率

性別	投票率
男	62.67%
女	62.83%
計	62.75%

◆村内投票結果(比例代表)

政党名	得票数
自由民主党	1,613
日本共産党	266
立憲民主党	416.094
公明党	634
日本維新の会	307
れいわ新選組	88
社会民主党	36
国民民主党	63.905
NHK党	50



村内8カ所で行われた投票(生越住民センター)



10月30日 赤城山1周ライド サイクリング・イベントで村をPR

赤城山周辺地域の振興を図ろうと、赤城山に接する6市村(昭和村、前橋市、桐生市、渋川市、みどり市、沼田市)の共催による初の自転車イベント「赤城山1周ライド」が行われました。

この日、参加した自転車愛好家は115人。赤城山の外周約100キロのコースを走りました。6市村にはそれぞれエイドステーションが設けられ、村内では道の駅「あぐりーむ昭和」で手作りこんにゃくを使った「こんにゃく鍋」を提供し、昭和村をPRしました。



りんごに喜ぶ園児たち(第一保育園)



10月22日 堤村長が横浜市役所訪問 横浜・山中市長と意見交換

新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の解除を受け、堤村長が横浜市を表敬訪問しました。

堤村長は、今年8月30日に就任した山中竹春市長に面会し、およそ半世紀にわたる村と横浜市の友好交流について、互いに意見を交わしました。

歓談の後には、村のPRとして、群馬県新品種のりんご「紅鶴」や村特産のこんにゃく製品などが堤村長から山中市長へ手渡され、今後も両市村の交流が続いていくことを願い「グータッチ」を交わしました。



グータッチする堤村長と山中市長